

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成29年2月16日(2017.2.16)

【公開番号】特開2015-158590(P2015-158590A)

【公開日】平成27年9月3日(2015.9.3)

【年通号数】公開・登録公報2015-055

【出願番号】特願2014-33185(P2014-33185)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/08

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月12日(2017.1.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

トナー補給型の印刷機用のトナーであって、印刷機内の補給前トナーに対して以下(1)、(2)及び(3)の条件を満たすことを特徴とする静電荷像現像用補給トナー。

(1) $Q_M(1) / Q_M(2) = 1$

(2) $Q_M(1) / Q_M(2) = 0.96$

(3) $BET(1) / BET(2) = 1$

(上記式(1)において、 $Q_M(1)$ は、補給前トナーもしくは補給トナーのいずれか一方の帯電量を表し、 $Q_M(2)$ は残る他方のトナーの帯電量を表す。ただし、補給前トナーの帯電量と補給トナーの帯電量とは $Q_M(1) = Q_M(2)$ の関係を満たす関係にあるものとする。

上記式(2)において、 $A_D(1)$ は、補給前トナーもしくは補給トナーのいずれか一方のゆるみ見かけ密度を表し、 $A_D(2)$ は残る他方のトナーのゆるみ見かけ密度を表す。ただし、補給前トナーのゆるみ見かけ密度と補給トナーのゆるみ見かけ密度とは $A_D(1) = A_D(2)$ の関係を満たす関係にあるものとする。

上記式(3)において、 $BET(1)$ は、補給前トナーもしくは補給トナーのいずれか一方のBET比表面積を表し、 $BET(2)$ は残る他方のトナーのBET比表面積を表す。ただし、補給前トナーのBET比表面積と補給トナーのBET比表面積とは $BET(1) = BET(2)$ の関係を満たす関係にあるものとする。)

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明者は、上記の課題に鑑み鋭意検討した結果、補給前トナーと補給トナーの帯電量、BET比表面積、ゆるみ見掛け密度において、特定の数値関係を満たすことにより、優れた画像品質を得ることができる静電荷現像用トナーを見出した。即ち、本発明の要旨は以下に存する。

トナー補給型の印刷機用のトナーであって、印刷機内の補給前トナーに対して以下(1)

、(2)及び(3)の条件を満たすことを特徴とする静電荷像現像用補給トナー。

$$\begin{array}{lll} (1) & 0.70 & QM(1) / QM(2) \quad 1 \\ (2) & 0.87 & AD(1) / AD(2) \quad \underline{0.96} \\ (3) & 0.44 & BET(1) / BET(2) \quad 1 \end{array}$$

(上記式(1)において、QM(1)は、補給前トナーもしくは補給トナーのいずれか一方の帯電量を表し、QM(2)は残る他方のトナーの帯電量を表す。ただし、補給前トナーの帯電量と補給トナーの帯電量とはQM(1) = QM(2)の関係を満たす関係にあるものとする。)